

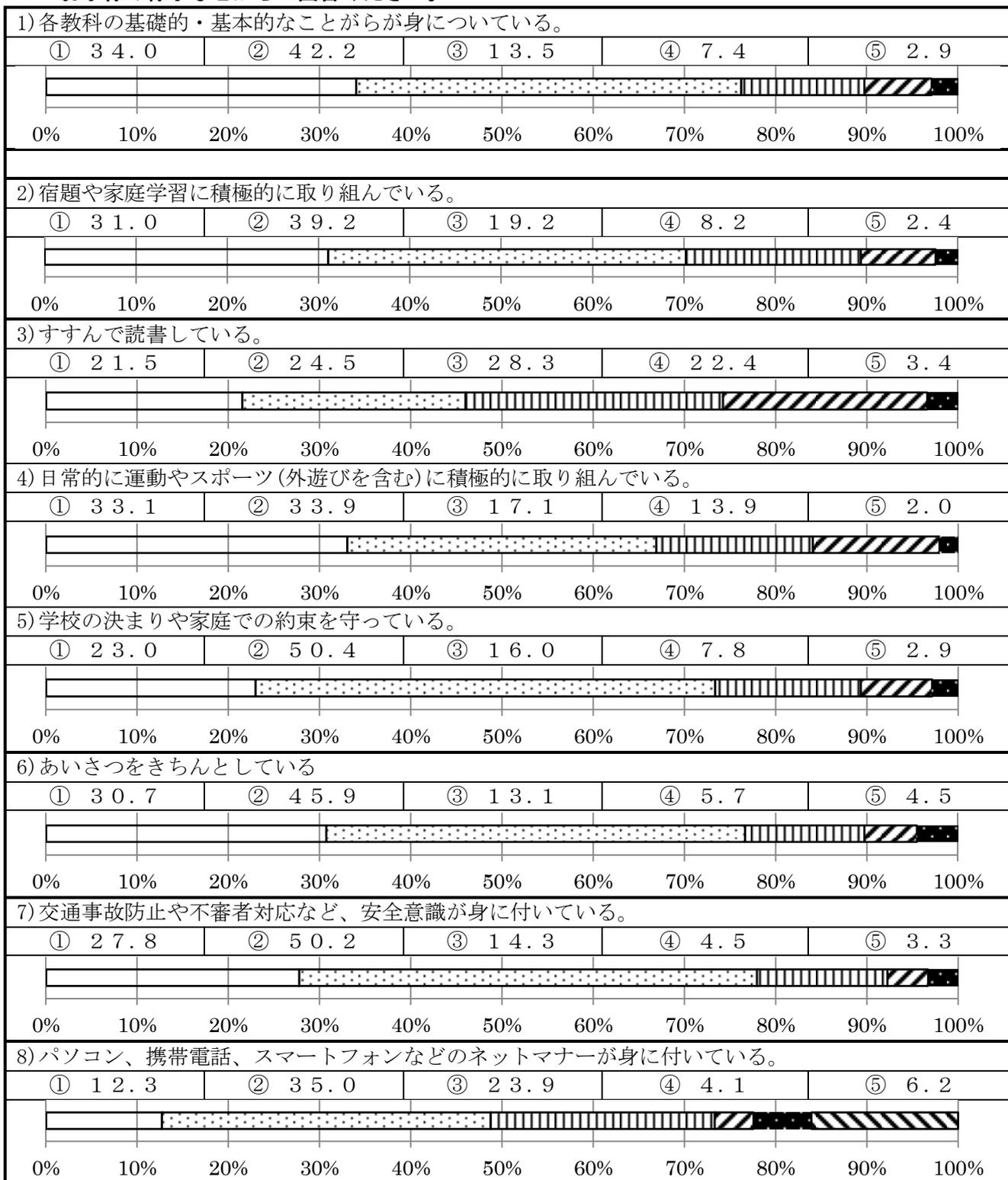
2019年度 学校教育に関する保護者アンケートの結果について

◎保護者アンケート集計結果 [家庭数 294 回収数 246 回収率 83.7%]

《表の見方》 (%にて表示)

□ ①とてもそう思う ▨ ②そう思う ▩ ③あまりそう思わない ▩ ④そう思わない ■ ⑤分からない・無回答

I お子様の様子などからご回答ください。



(8)の質問にて、「使用する環境がない」の回答：15.6%

II 保護者の方が感じている学校の現状について、ご回答ください。



1 教育活動に関する結果について

「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた割合を見ると、「1 基礎・基本の定着」「6 あいさつ」「7 安全意識」「11 12 開かれた学校づくり」が高く、「3 読書」「8 情報モラル」「11 小中連携」が低い傾向にあります。

基礎学力については、朝のモジュールの時間を活用して、全学年算数、中学年以上は国語、高学年はさらに外国語を学び、基礎・基本の定着を図ってきました。また、不審者対応訓練や登下校時を含む多様な想定避難訓練を実施し、児童の安全意識を高めてきました。

2 次年度の取り組みについて

「3 読書の推進」については、次年度も6・10月に読書月間を設定します。また、低中学年では、年間を通じて週1回朝読書・読み聞かせを行い、読書への関心を高めていきます。また、図書指導員と連携を図り、「おすすめの本」の紹介など読書に触れる環境を整えていきます。さらに、「読書のすすめ」を配布し、学校だけでなく家庭における読書環境を整えることの大切さ等も伝え、各家庭での協力も呼びかけていきます。

「8 情報モラルの向上」については、警察の方々を招いて行うセーフティ教室で、次年度も4～6年生を対象に情報モラルに関する内容を取り入れ、モラル向上を図っていきます。また、「SNSノート」を活用し、ネットやマナーについての指導を随時行っていきます。さらに、5年対象に親子スマホ教室を実施し、学校だけでなく家庭での指導や協力も呼びかけていきます。

「11 小中連携教育の推進」については、9月に凶師小学校にて実施する小中連携連絡会を基盤として、授業公開をもとに意見交換を行い、学習・生活面の小中一貫した指導に努めていきます。小中連携の取り組みについて、学校だよりや写真ニュース等で校外に発信し、周知を図っていきます。また、中学生職場体験も年間2回実施し、近隣中学校（忠生中学校・山崎中学校）との連携を深めていきます。